

JAST REPORT

Japan System Techniques
Co., Ltd.
Business Report

社会を支え、未来を創るITソリューションカンパニー

第47期

年次報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



ソフトウェア事業

- ソフトウェアの個別受託開発
- 金融機関向け情報系統合パッケージ

BankNeo

ビジネスアプリケーション分野(事務処理系システム)、エンジニアリングアプリケーション分野(通信・制御・技術系システム)といった2つの分野で、顧客の個別ニーズに合わせたオーダーメイド方式によるソフトウェアの受託開発等を提供しています。

●情報システム関連機器等の販売

ハードウェア・ソフトウェア・インフラの統合販売、保守、ネットワーク構築を提供しています。



GAKUEN事業

●戦略的大学経営システム



教育機関向けパッケージの開発・販売を行っています。学校業務関連市場で圧倒的なブランド力を誇る戦略的大学経営システム「GAKUEN」を中核に、最新の文教ITサービスを提供しています。

●レセプト点検をコアとした医療費適正化サービス

JMICS

JAST Medical Insurance Checking System

電子レセプト自動点検システム「JMICS」による医療情報データの点検、分析及び関連サービスの運用を通じて、保険者様における医療費の適正化と加入者様の健康増進の実現を支援しています。



JASTのソリューション

私たちは、情報システムの
トータル・インテグレーターとして、
お客様のお悩み一つひとつを解決します。

完全独立系ソフトウェア企業としてのメリットを活かし、
多彩な分野で広範なソリューションを
提供しています。



システム販売事業



医療ビッグデータ事業



当社主導型ビジネスの推進と ASEAN市場の拡大で、経営基盤を強化し 安定的・持続的な成長を維持します。

代表取締役社長執行役員 平林 武昭

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに第47期連結会計年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の業績につきまして、ご報告を申し上げます。

2019年6月

Q 第47期(2019年3月期)の市場環境と業績についてお聞かせください。

A 変動の激しい市場環境の中、 経常増益を達成することができました。

第47期における国内経済は、東アジアの地政学的リスクが継続しているものの、政府による経済政策を背景に、企業収益、雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調を維持しております。

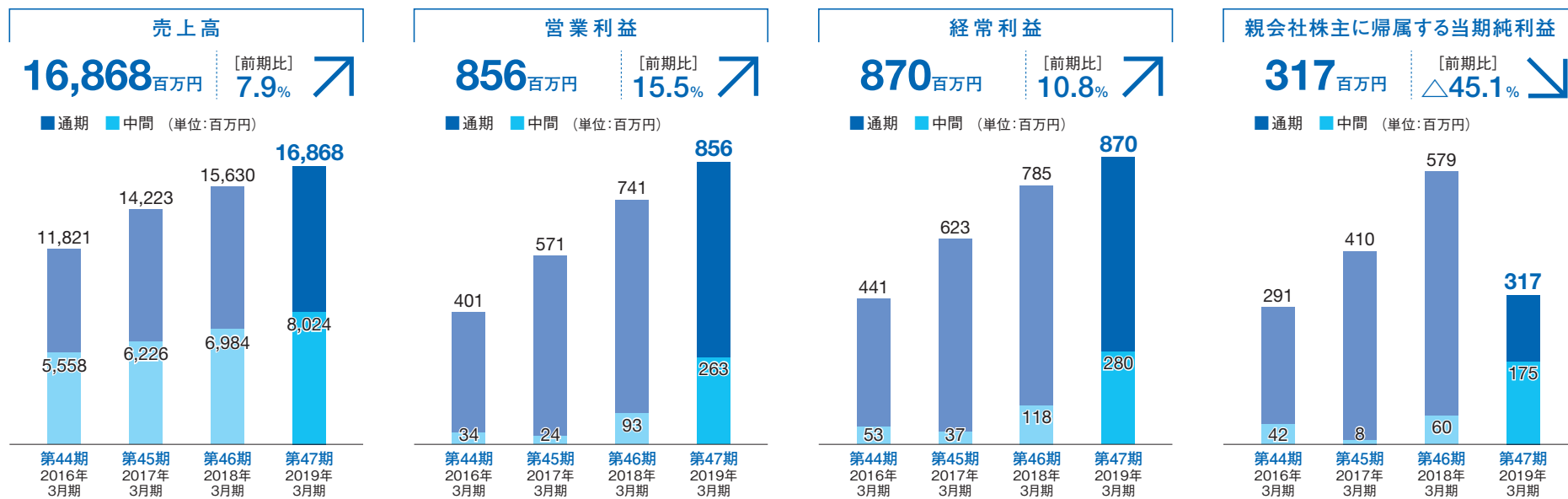
国内のIT産業につきましては、経済産業省の直近の統計※では2018年の売上高前年比は1.5%増(2017年の売上高前年比は2.5%増)とプラス傾向を

継続していますが、増加率が2017年比で縮小しており、単月では売上高前年同月比がマイナスとなる月もあり、先行きは不透明な状況が予想されています。

こうした経営環境のもと、当社グループの連結業績は、売上高168億68百万円(前期比7.9%増)、営業利益8億56百万円(同15.5%増)、経常利益8億70百万円(同10.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は和解金3億80百万円を特別損失として計上したことにより3億17百万円(同45.1%減)となりました。

※「経済産業省 特定サービス産業動態統計2月確報」

連結財務ハイライト



JSTの1年の活動

●タイに当社子会社
JAST Asia Pacific Co., LTD.を設立

●2018年プロ野球クライマックスシリーズで映像を提供
●スマホ決済サービス「UNIPA(ユニバ) Pay」開始

●生活保護受給者健康管理支援システムの提供を開始



- 株式会社セールスフォース・ドットコムとの業務提携
- 京都工芸繊維大学とSGホールディングスグループ健康保険組合との人工知能(AI)技術を活用した産学共同研究を開始
- 新製品「GAKUEN UNIVERSAL PASSPORT RX」発売

- Virtual Calibreグループの株式取得(子会社化)

詳細は
右ページ

Q 海外事業における成長戦略について教えてください。

A Virtual Calibreグループの子会社化で、ASEAN全域での基盤拡大を目指します。

今後も高い成長が見込まれるASEAN地域への基盤拡大を目的に、2018年11月、マレーシアの独立系システムコンサルティング企業Virtual Calibreグループの株式を取得し、子会社化いたしました。同グループはERPパッケージSAPの導入や保守サポート事業を主力とし、国営エネルギー産業に関わる大手企業等を顧客に、独自の収益モデルで手堅い成長を遂げてきました。

Virtual Calibreグループの参入により、ASEAN全域へのビジネス基盤の拡大や、在ASEANの当社子会社における事業の拡大への推進力を高めるとともに、中長期的な国内ERP事業の強化を図ります。

Q 現在進行中の中期経営計画をふまえ、第48期の取り組みについてお聞かせください。

A 当社主導型ビジネスを推進し、持続的成長の土台を盤石化します。

昨今の世界経済の不安定な景況の中、これまでの主力であった受託型ビジネスに依存した業態では、将来に亘っての成長の実現は困難になるとの認識のも

と、当社では進行年度を含む3事業年度の中期経営計画を毎年策定し、目標達成に向けた諸施策に取り組んでおります。

具体的には、受託開発ビジネスにおいては、ソリューション営業の強化により、開発案件の規模拡大とエンドユーザーとの直接契約拡大を図り、併せて、ERP事業推進及びマネジメント推進組織の新設により、新たなSIビジネス展開とプロジェクト品質の向上につなげ、収益性・生産性の向上を図ります。

自社ブランドビジネスにおいては、「GAKUEN」の新製品投入や、「JMICS」のレセプトデータ利活用ビジネスの実現、産官学連携による共同研究等により、既存ブランドのサービス領域の拡大と高度化を進めると同時に、海外販売戦略の強化並びにM&Aを含めたアライアンスの拡大により、全収益における比率をさらに高めます。加えて、新たな商材を発信するための最先端テクノロジーを中心とした研究開発を推進しております。

人材育成においては、当社の高付加価値化をささえる、業界トップレベルの人材輩出に直結する教育・人事制度の導入に取り組み、成長基盤のさらなる強化拡大に繋がります。加えて、「働き易い職場づくり」実現のため、勤務時間の短縮や処遇の向上に取り組むとともに、当社独自の取り組みとして、人事制度の改革、健康経営の追求、従業員の成長と生産性アップを通じた

働きがいの向上につながる施策を推進しております。

これらの諸施策をふまえ、第48期の業績予想は、売上高186億50百万円（前期比10.6%増）、営業利益10億85百万円（同26.7%増）、経常利益11億円（同26.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億70百万円（同110.7%増）と増収増益を見込んでいます。

Q 最後に配当方針と株主様へのメッセージをお願いいたします。

A 「四方よし」実現のため、グループ一体となり成長を続けます。

当社の配当方針としましては、業績と同様に長期的に安定した成長を基本方針にしております。配当性向に配慮しつつ、留保利益につきましては、プロフェッショナルな人材の育成や、新規ビジネスの創出、各種アライアンスの推進並びに新製品の研究開発等に有効投資を実施する予定です。

当社グループとしましては、株主の皆様、お客様、社員、社会の「四方よし」実現のため、役員・従業員が一体となり、引き続き努力してまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

セグメント別概況



ソフトウェア事業

[売上高] **116億22百万円**
(前期比 9.8%増)

[営業利益] **4億84百万円**
(前期比 8.1%増)

通信業及び官公庁向け案件が前年を下回った一方で、製造業、サービス・流通業及び金融・保険・証券業向け案件等がそれぞれ増収となりました。

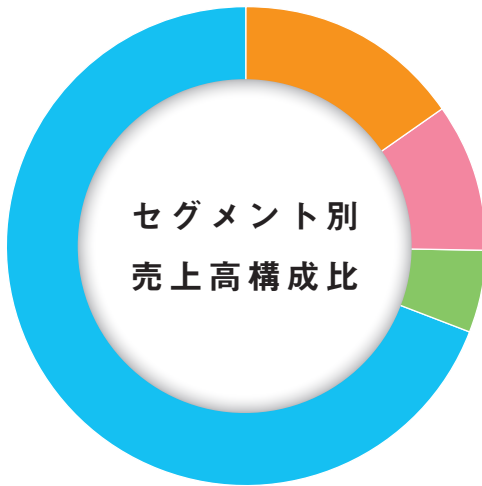


システム販売事業

[売上高] **16億81百万円**
(前期比 7.4%減)

[営業利益] **1億40百万円**
(前期比 204.2%増)

収益性の高い公共系SI(システム・インテグレーション)案件が前年を上回ったものの、大学向け機器の販売が減収となりました。



GAKUEN事業

[売上高] **25億86百万円**
(前期比 14.7%増)

[営業利益] **3億17百万円**
(前期比 24.8%増)

仕入販売、導入支援、EUC(関連システムの個別受託開発)及び運用サービス等がそれぞれ増収となりました。



医療ビッグデータ事業

[売上高] **9億77百万円**
(前期比 0.3%増)

[営業損失] **95百万円**
(前連結会計年度は営業損失12百万円)

レセプト自動点検サービス及び医療費通知サービスが堅調に推移したものの、組織増強等のコスト増先行により、営業損失が発生しました。

特集 | 子会社紹介

ASEAN全域へのビジネス基盤拡大の鍵を握る子会社「Virtual Calibreグループ」

当社の子会社であるVirtual Calibreグループは、大手企業や国営エネルギー会社を主要クライアントに持つマレーシアの独立系システムコンサルティング企業です。世界最大のシェアを誇るERPパッケージSAPを取り扱う企業としても定評があり、SAPエンジニア部隊を編成した高度なサービス体制を強みとしています。日本の大手各社が基幹業務をSAPへ移行する動きがある中で、Virtual Calibreグループは、当社の国内外におけるSAPサービス展開の後押しとしての役割をはじめ、既存のASEAN子会社とのシナジーや、当社のASEAN以遠への進出の推進力となるなど、グローバルな事業展開において大きな役割を担うことが期待されます。

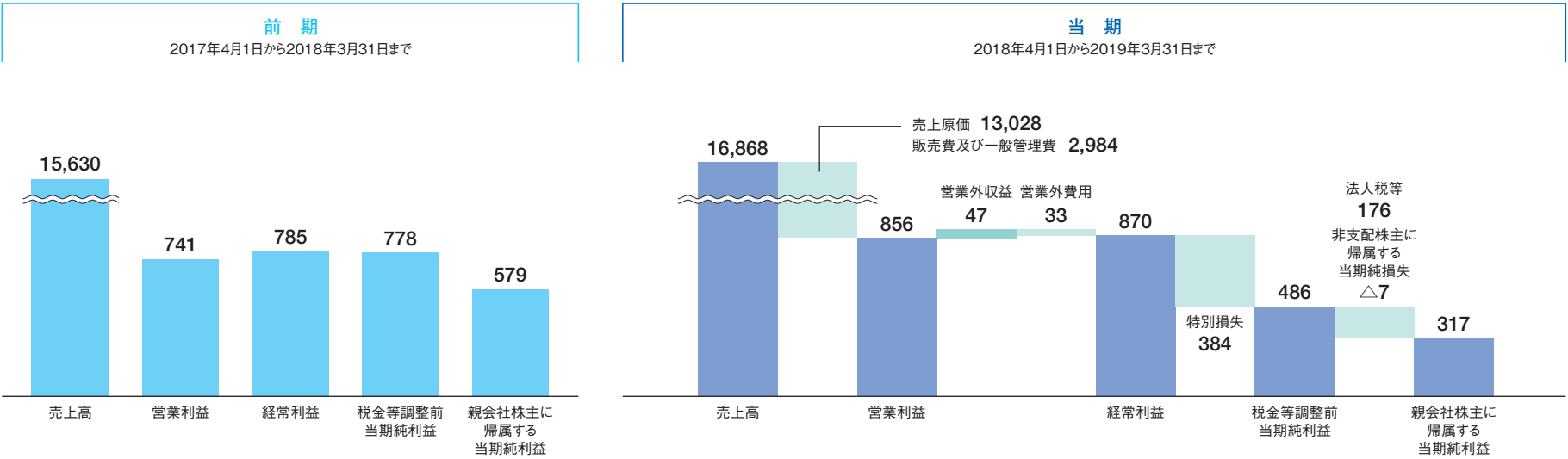


●Virtual Calibreグループ会社概要

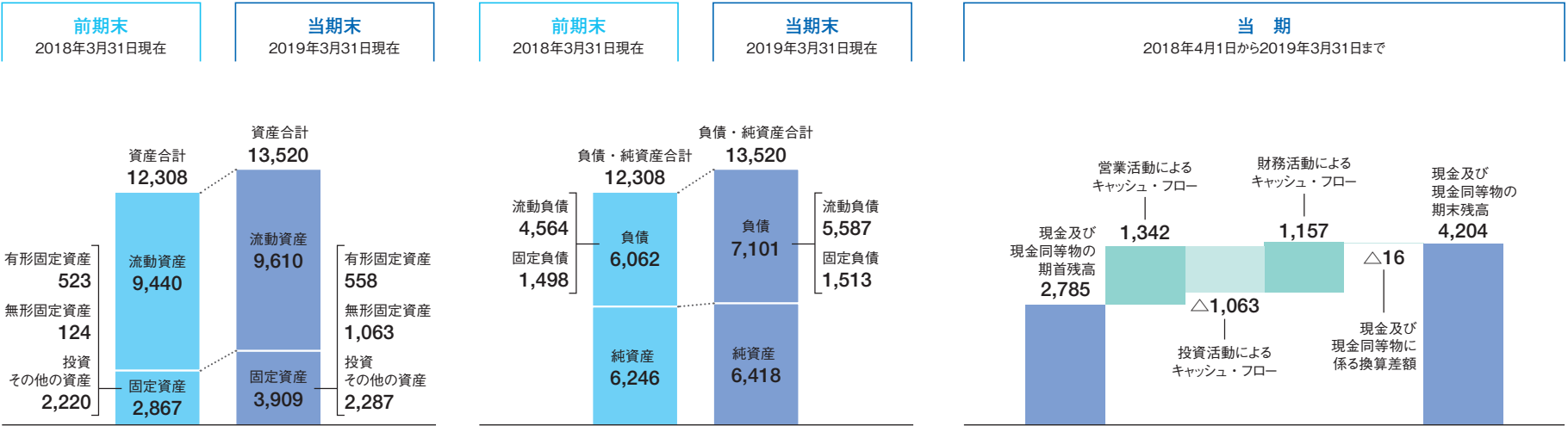
名 称	設立年月日	主な事業内容
Virtual Calibre SDN. BHD.	2002年9月25日	ソフトウェア開発、コンサルティング
Virtual Calibre MSC SDN. BHD.	2006年8月15日	ソフトウェア開発、マルチメディアアプリ開発
Virtual Calibre Consulting SDN. BHD.	2010年11月1日	ソフトウェア開発、ITマネージメント

連結財務諸表

●連結損益計算書の概要（単位：百万円）



●連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



会社概要

(2019年3月31日現在)

社 名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd. (略称JAST)
本 社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階
設 立	1973年3月26日
資 本 金	10億7,666万円
従 業 員 数	712名

役員

(2019年3月31日現在)

代表取締役社長執行役員	平 林 武 昭
取 締 役 執 行 役 員	大 門 紀 章
取 締 役 執 行 役 員	伴 浩 明
取 締 役 執 行 役 員	佐々木 優
取 締 役 執 行 役 員	土 屋 祐 二
取 締 役 (社 外 取 締 役)	山 科 裕
取 締 役 (社 外 取 締 役)	細 江 浩
執 行 役 員	六 車 千 春
執 行 役 員	山 田 賢 二
執 行 役 員	中 尾 昭 宏
監 査 役	園 田 勝 朗
監 査 役 (社 外 監 査 役)	妙 中 茂 樹
監 査 役 (社 外 監 査 役)	最 上 次 郎

株式の状況

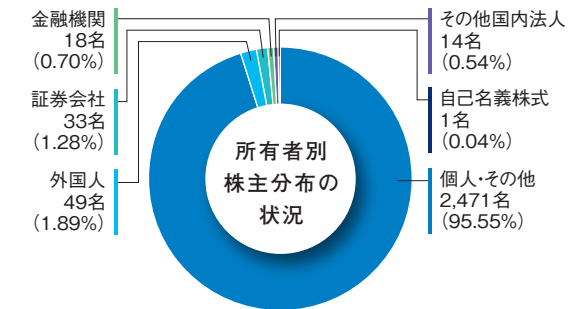
(2019年3月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	16,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	5,612,230株 (注)自己株式255,710株を含んでおります。
株 主 数	2,586名

大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社ジャスト	1,450,100	27.1
日本システム技術従業員持株会	644,340	12.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	265,300	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	189,400	3.5
平林 卓	139,320	2.6
平林 武昭	93,300	1.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	74,700	1.4
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	66,524	1.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	61,400	1.1
丸山 眞道	60,610	1.1

(注1)上記のほか、自己株式が255,710株あります。
(注2)持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株式に関するお問い合わせ先

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

配当について

当社は、当期業績及び経営環境等を総合的に勘案した安定的かつ継続的な配当を基本方針としております。当期の期末配当につきましては、1株につき28円とさせていただきますことといたしました。これにより年間配当金も、1株につき28円となります。

